

全国30のスキー場を繋げ地域消費拡大を目指す 「スノーリゾート経済圏」構築に向けた実証事業(アースホッパーコンソーシアム)

実施地域

スキー場(全国15箇所)

事業期間

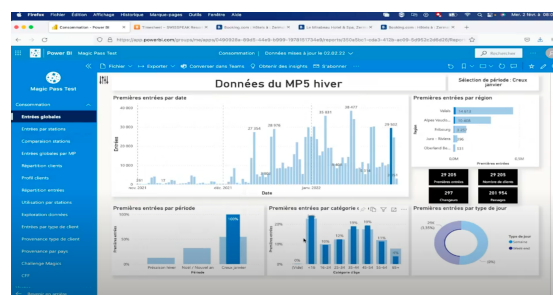
令和4年5月～令和5年1月(予定)

事業概要

全国30か所のスキー場のリフト券の発行やギアレנטルサービス等を受けられるサブスクサービスであるデジタルプラットフォーム「アースホッパー」を活用し、ユーザーの個人属性データとスノーリゾートへの来場記録を結合するとともに地域内店舗等にキャンペーンQRコードを設置することで、地域内を訪れた個人の動態や消費行動等を把握する。

また、ユーザーの行動を可視化することで、スノーリゾート運営会社自らがマーケティング施策を企画・実行できるようにする。

2023年度以降は、ライトスキーヤーやインバウンド観光客への展開を進め、将来的には海外のスキー客も利用するスノーリゾートプラットフォームを目指す。



データ可視化イメージ

実施体制

観光等事業者：(株)Pioneerwork、バルール(株)、
(株)アドレス、赤井川村国際リゾート推進協議会、
(株)八幡平DMO

その他：スキーリゾート運営会社15社

